

美術を学ぶ君たちへ



今、この状況でもできる美術の学び

学校で一緒に学べない

美術の基礎的な学習は自宅でも進めることができます。

今までと違う時間の中で、

身の回りにある美しい物をじっくりと見て、形や色の良さや美しさに着目し、考えてみましょう。そこで発見したことに「わくわく」、「ドキドキ」して自分の心を育ててみませんか。その活動が美術の学びを深める基本的な力につながります。

「人工知能(AI)がどれだけ進化しても、目的の良さ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みである」と言われています。このように美術を通して学んだ資質・能力は未来を豊かに生き抜く力を育てることに深く関係しています。

学校が始まらない今は

自宅のできる、美術の基本的な力を伸ばす「自分の中のよさや美しさを感じる心をつめる造形的な見方・考え方を育てる題材」に取り組みましょう。

学校が始まれば

君たちが題材を通して考え、造形的な見方・考え方を働かせながら、人間の強みを伸ばし、鍛えていく沢山の学習が再び始まります。また一緒に、単に美しい作品を作るだけでなく、一人ひとりが課題の中で思い描いたゴールに向かって学び方を学びながら、自分なりの答えを見つけていきましょう。



学習の進め方について



題材ごとに **学びの視点** や *** 学び方のポイント** が示してあります。課題文をよく読んで学びの意識をもって取り組みましょう。

これまで学習した「ものの見方や色の使い方」を基に、1年身の回り。2~3年少しずつ視野を広げ、自分を取り巻く社会と美術の関わりにも関心を持ちましょう。初めは自分が感じる事、それから「どうしてだろう?」「他の人なら?」など様々に考え、内容を深めていきましょう。そして、感じた事考えた事が、より多くの人に伝わるよう、理由など加え自分らしく具体的にまとめましょう。